

第 16 圖



さ
く
科

やくしさう

Lactuca denticulata Maxim.

山野路傍ニ生ズル越年生草本。莖ハ直立シ高サ 30-60cm 許、質稍硬ク多ク分枝ス。根生葉ハ叢生シ長柄ヲ具ヘ、莖葉ハ互生シ無柄ニシテ底部莖ヲ抱キ、長橢圓形或ハ倒卵形ヲ成シ低齒ヲ有ス、質薄ク柔ニシテ裏面稍帶白、裂ケバ白乳液ヲ出ス。秋月枝上ニ略繖形ヲ呈スル繖房状ニ多數ノ有梗頭状花ヲ着ク。全部黄色舌状花ヨリ成リ、總苞ハ暗緑。瘦果ノ冠毛ハ純白ナリ。葉ノ羽状ニ深裂スル一品ヲはなやくしさうト稱ス。漢名 苦蕒菜(慣用)

第 17 圖



さ
く
科

あきののげし

Lactuca laciniata Makino.

山野ニ生ズル大ナル一年生又ハ越年生草本。莖ハ 1.5-2m ニシテ直立シ、葉ハ互生シ、長橢圓狀披針形ヲ呈シ、逆向羽状ニ分裂セルヲ常トス。基部ハ稍莖ヲ抱キ、葉縁暗紫色ヲ帶ブ。莖葉共ニ毛ナク、之ヲ切レバ白乳液ヲ出ス。秋日梢ニ枝ヲ分チ、徑 2cm 許アル淡黄色ノ頭状花ヲ着ク。總苞ハ下部膨大シ、長サ 1cm 許、苞片ハ覆瓦状ヲ成シ邊緣暗紫色ヲ呈ス。頭状花ハ舌状花ノミヨリ成リ外面淡紫色ヲ帶ブ。日中ノミ正開シ、夕方凋ムヲ常トス。漢名 山萵苣(慣用)

第 18 圖



さ
く
科

ほそばのあきののげし

Lactuca laciniata Makino
forma indivisa Makino.

(= *L. squarrosa* Miq.
forma indivisa Honda.)

山野ニ多キ越年生草本ニシテあきののげシノ葉ノ分裂セザル一品ナリ。莖ハ直立シテ高サ 2m 内外ニ達シ平滑無毛ナリ。葉ハ多數莖上ニ互生シ、披針形ニシテ通常分裂セズト雖モ其脚葉ハ時ニ一二ノ裂片ヲ有スルコトアリ、長サ 15cm 内外、邊緣ニ微鋸齒ヲ具ヘ兩端漸尖ス。秋日梢上ニ圓錐狀花穂ヲ成シテ多數ノ淡黄白花ヲ開キ、各頭状花ハ一日ニシテ凋ムコトあきののげシ花ニ於ケルガ如ク、徑 2cm ヲ超エ、十五内外ノ舌状小花ヲ以テ成ル。總苞ハ長卵形ニシテ總苞片ハ覆瓦状ニ鱗次シ下ノ者ハ卵形、上ノ者ハ線狀長橢圓形ヲ呈シテ長ク、綠色ニシテ草質ナリ。瘦果ハ黒褐色ニシテ冠毛ハ白シ。野外ニ於テハ往々其下部ノ葉ハ多少分裂シ上部ノ葉ハ全然全邊ノ品ニ遭遇ス、之レヲあひのあきののげシ (*f. intermedia Mak.*) ト云フ。和名ハ細葉の秋の野萵菜ノ意ニシテ其葉分裂セズ狭長ナレバスク云フ。

みやまあきののげし

Lactuca triangulata Maxim.

中部ノ深山ニ生ズル越年生草本ニシテ高サ 1m ニ達ス。葉ハ圓柱形ヲ成シテ直立セル莖ニ互生シ、三角形又ハ心臟形ニシテ邊緣ニ不整ノ齒ヲ刻ミ、薄キ草質ヲ呈シ、表面ニ細毛散生シ、裏面ハ白色ヲ帶ブ。葉柄ハ葉片ト略ボ同長ニシテ有翼、基部ハ耳垂片ヲ以テ莖ヲ抱ケドモ上部ノ葉ニ在テハ耳垂ヲ缺キ且ツ葉柄ヲ失フ。八月梢ニ瘦長ナル圓錐狀花穂ヲ成シテ頭状花ヲ着ク。頭状花ハ敢テ多數ナラズ且ツ散生シ、十五内外ノ舌状小花ヲ以テ成リ、花冠ハ黄色ナリ。冠毛ハ白色ヲ呈ス。和名ハ深山秋の野萵菜ノ意ナレドモ、本品ハやまにがニ近ケレバみやまにがナト呼ベバ却テ可ナルヲ覺ユ。

第 19 圖



さ
く
科

あぜたうな

Lactuca Keiskeana Makino.

本邦暖地ノ海岸ニ生ズル多年生草本。根ハ太クシテ直下シ、根頭ニ莖ヲ叢生ス。莖ハ下部ヨリ分レテ斜上シ、長サ 15-20cm 許、葉ハ質厚ク邊緣ニ鋸齒アリ、狭キ倒卵形ニシテ、脚葉ハ叢生シ、莖葉ハ互生ス。晩秋莖頂ニ黄色ノ頭状花ヲ集着シ、總苞ハ暗綠色ヲ呈ス。

第 20 圖



さ
く
科

わだん

Lactuca platyphylla Makino.

本邦中部ノ海邊ニ自生スル越年生草本。莖ハ高サ 30-60cm 許ニシテ通常横ニ枝ヲ分ツ。葉ハ質軟ク、互生シテ相重ナリ、倒卵形或ハ橢圓形ヲ成シ、圓頂ニシテ邊緣殆ト全邊ヲ成シ、淡黄白綠色ヲ呈ス。莖・葉ヲ截斷スレバ苦味ヲ有スル白乳液ヲ出ス。秋日梢上ニ黄色舌状花ヨリ成ル多數ノ頭状花ヲ密簇ス。

第 21 圖



さ
く
科